

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年02月08日

計画の名称	歴史・文化の発信拠点としての広島城三の丸整備事業													
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	広島市													
計画の目標	観光客及び市民からのニーズの高い便益施設（飲食・物販施設等）や、広島城を中心とした歴史・文化を総合的に学び、体験できる広島城三の丸歴史館の整備を行うことにより、広島城の「観光拠点及び歴史・文化の発信拠点」としての魅力を向上させる。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		299	A	299	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値	最終目標値 (R8末)
1	新たに整備する「広島城三の丸歴史館」の入館者数を増加させる。 新たに整備する「広島城三の丸歴史館」の入館者数を増加させる。 新たに整備する「広島城三の丸歴史館」の入館者数を測定する。	90000人/年	人/年	200000人/年
2	中央公園バス駐車場の利用台数を増加させる。 中央公園バス駐車場利用台数を増加させる。 中央公園バス駐車場利用台数を測定する。	3300台/年	台/年	15500台/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	都市公園事業(中央公園・三の丸)	基盤整備	広島市						100	1.3	-
	A12-002	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	都市公園事業(中央公園・三の丸)	バス駐車場新設	広島市						199	1.3	-
											小計						299		
											合計						299		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	149				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	149				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	110				
翌年度繰越額 (f)	39				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 歴史・文化の発信拠点としての広島城三の丸整備事業

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価		チェック欄
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

令和4年2月8日

計画の名称	歴史・文化の発信拠点としての広島城三の丸整備事業	交付団体	広島市
計画の期間	令和4年度～令和8年度		

